



発行日 =2000年6月25日 発行人 = 面出薫 編集 = 泉ルミ・田中裕美子
照明探偵団・事務局 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-28-10 ライティングプランナーズ アシエーツ内 (田中裕美子)
TEL :03-5469-1022 FAX :03-5469-1023 e-mail=tanteidan@ppp.bekkoame.ne.jp http://www.bekkoame.ne.jp/ tanteidan/

照明探偵団通信

vol.07 Shomei Tanteidan Tsu-shin

海外照明探偵団レポート
 サンクトペテルブルグ/ロシア
面出の探偵ノート
照明探偵団倶楽部新規会員募集
・継続手続き
展示会レポート
 フランクフルトメッセ
 N.Y. ライトフェア
照明探偵団倶楽部活動 1
 街歩き (佃島編) 報告
照明探偵団倶楽部活動 2・3
 研究会サロン 報告
面出薫 +LPA の仕事展
 (建築家倶楽部にて開催)
照明探偵団日記



海外照明探偵団

サントペテルブルグ / ロシア

'99.11.27 ~ 12.4



1999年11月末から12月にかけて僕たち（東海林弘靖+窪田麻里）は、厳寒のロシアを照明探偵した。ここで重要なのは「厳寒の」という形容詞で、もしこれが「白夜の・・・」といった場合ある種のロマンチックな調査、うらやましい調査、「そんなところに行けていいなあ！」と思われるに違いない。しかし、あえて強調したいのは「寒くて暗くて少し怖い遠いロシア」の調査に行ったことだ。こんなまどろっこしい前置きをするのは、必ずしも、僕たちの調査がどんなに辛いものであったかをわかって欲しいからではない。ロシアという外国は、アメリカやヨーロッパと違った社会主義というイデオロギーに基いて成立した世界であって、僕たちが日本やアメリカで通用する常識の一部がここでは、まったく通用しない世界であることを身をもって体験したということである。照明探偵

長い間続けると、街の照明システムがその街の歴史や社会背景、経済事情を反映するものだと思えてくる。21世紀を目前にして照明の技術は、ほぼ均質に世界中に伝わった感がある。いまどき砂漠を移動するノマドの人々のテントにも発光ダイオードの緊急用信号灯があったりする。まして、都市照明に至っては、香港でもソウルでも東京でもニューヨークでもそしてロシアでも技術的な差異はほとんどない。しかし、「人と光」という関係、或いは「光と経済」といったテーマで改めて街の明かりを見てみると、そこには僅かな違いが見て取れるのだ。照明探偵を始めた頃には、表層的な照明装置の違いや光源の使い分けに意味を探ろうとしていたが、そういったものは経済的な理由であることが多く、文化論的な深い意味を持つことが無かったようなのだ。ロシアの照明

調査を行った頃にはそんなことを考えていた。まあ、前置きはこのくらいにして早速「厳寒のロシア」の照明探偵のレポートをしよう。

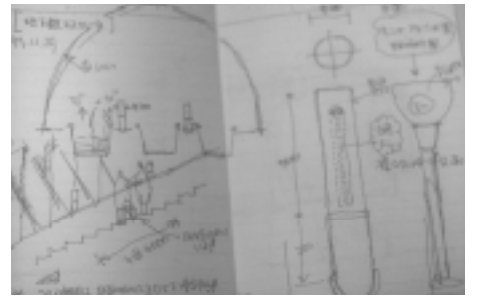
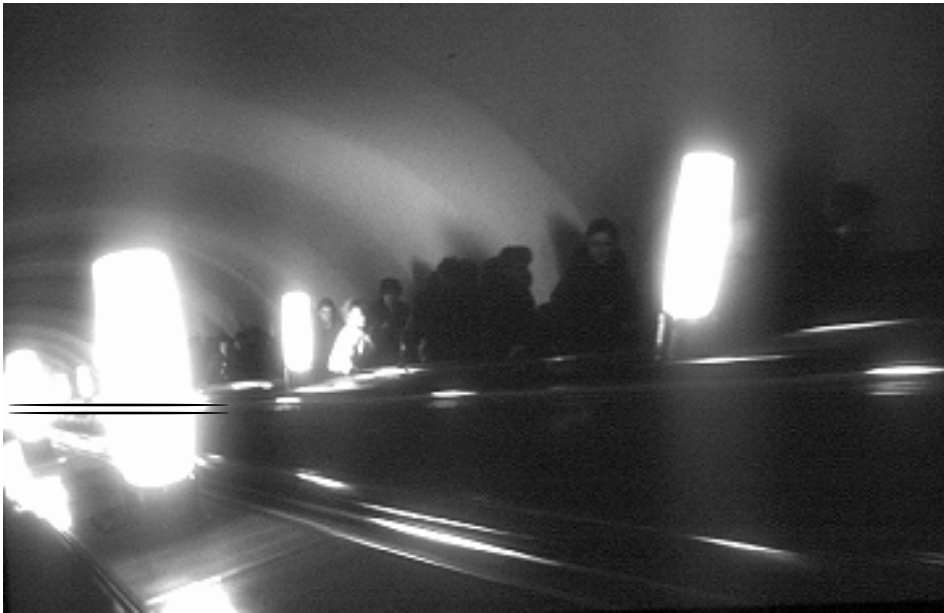
サントペテルブルグという都市

この街は、北緯60度ロシアの西端にあって、すぐ隣はフィンランドである。地理的にはヨーロッパに属していると言っても良いくらいだ。街は19世紀に栄華を飾りその昔レニングラードと呼ばれていたようだ。「レニングラード・パレエ」は今でも有名だし、この厳めしい名前が遠い街であることを印象づける。ロシアの東端の都市ハバロフスクからだと列車で1週間以上かかるらしい。この街には有名なエルミタージュ美術館、マリンスキー劇場など美しいパロック建築があり、その中に豊富な美術品が



上:球形のガラスグローブが並ぶ地下鉄の 에스カレーター
左:ネフスキー大通

表紙写真:レーニン公園にて
緯度の高いサントペテルブルグでは南中時の影長い



上:チューブのようなエスカレーター空間のスケッチ
左:円筒形 蛍光灯 光源

あり、演劇、バレエが培われている芸術の都である。街の骨格は、ネフスキー大通りが背骨のように貫いている。この通りがいわば目抜き通りで商業施設が張り付いている。幅32から36メートル（東京の銀座通より少しだけ広い）の両側には高さ20メートルで軒を美しく並べた19世紀の建築がファサードをつくっている。道路照明は高圧ナトリウムランプを使用しているのでもニューヨークやパリと変わらない。照度設定も似たようなものと判定した。かつて調査したフィラデルフィアには、異常な明るさ（100ルクス）の通りがあったが、そういったこともない。やはり都市照明の基本は地球上に均質分布している照明テクノロジーによって支えられていることを確認する。この通りで照明探偵が特記レポートを記するのは、ネオン広告塔の類が殆ど無いことだ。それ故夜間にも人がたくさん歩いているのに人の顔が暗い感じがする。もっとも厳寒のこの地では、皆毛皮の帽子を深く被っているのでもそのことも影響しているには違いない。パリのシャンゼリゼ通りでは、ネオンの色に規制があって白色以外は使ってはならないことになっている。（マクドナルドの看板でさえ白一色であるという話は有名だ）ネフスキー大通りでは、ネオン広告ということが完全に禁止されているようだ。いや、景観上禁止されているのではなく、付ける必要がないのである。このことはデパートのファサードを見てすぐに直感した。通いから引込んだ所にあるデパートでさえ、外壁に垂れ幕広告やネオンがないのである。デパートの存在感は、古く由緒ありそうな建築のファサードで十分出るのである。垂れ幕広告やネオンサインは、資本主義の商競争社会に特有のものであって、ロシアのような社会主義経済においてはその必要性が極めて薄いわけである。ここでは、ネオンサインを付ける理由がないのだろう。その結果、ネフスキー大通りは道路照明と店舗から溢れる光によって程良い明るさがつくられている。この明るさレベルは決して不快ではない。しかし、資本主義経済圏の目抜き通りを経験し

た僕たちにとっては、正直言って物足り無さが残った。

地下鉄

ネフスキー大通りの真下には地下鉄が通っている。昼間でも摂氏0度を下回る気温故に長い時間外部を歩くことは結構辛い。従って移動には地下鉄を利用することが多くなる。ロシアの地下鉄は、核戦争が起きてしまった時に核シェルターとして機能するそうで、駅は、地下かなり深いところにある。地上の出入り口から長い長いエスカレーターに乗って（しかもスピードが日本の2倍くらいあるようだ）3分程かけて降りていく。このチューブのようなエスカレーター空間は、「いい感じである。というのは、シリンダーのように丸い断面をした空間の中心にガラスグローブの照明があって、ここから発せられる光が反対側を行く人の顔を程よく照らし、且つ白い壁と天井（境目は無いけれど）輝度を与えているからだ。こういった工夫が無ければ、この空間は深い深い地下へと吸い込まれてしまう不気味な空間になってしまうだろう。このガラスグローブを用いた照明システムは、どの駅のエスカレーター空間にも適用されていた。地上の照明には少しがっかり感が残ったが、一步地下へ降りると豊かな光の世界が広がっていたのだ。僕たちは、速いエスカレーターに何度も乗りながら、この面白いガラスグローブについて研究した。その結果わかったことは、グローブの形状は1種類ではなく、蛍光灯を光源とした円筒形の物と、白熱電球を光源とした球形をした物の2種類であった。この照明器具の取り付けピッチは4m、チューブには12m毎にリブがついている。また、エスカレーターの勾配は、日本の物に比べて緩やかなことなどが発見された。日本の地下鉄でエスカレーターの照明といたら、白色の蛍光灯が満ち満ちていて以外に選択肢は無さそうな感じがする。きちんと調査してはいないが、安全のために照度が確保されていれば、照明の目的が完了したと

見るむき強い。その点においてサンクトペテルブルグの地下鉄のエスカレーター照明は、照明に期待されている機能を単に安全性に留まらず、人間の心理的な快適性（ひょっとしたら有事の際に地下鉄が核シェルターとなってそこへ避難する際、人がパニックを起こさないような光・・・なんてコンセプトがあったりしても不思議ではない。）を考慮している点で大いに評価できる。

ロシアの光の作法

ロシアの調査を通して考えたのは「公共空間の光であった。資本主義社会の都市環境では、公に設置する道路照明がどうであれ、商業的に必要な広告、サインなどの光が環境のなかで圧倒的なパワーを放つ・・・商業というサービス精神が街で賑わう光を生み出し、照明デザイナーや建築家はそれらの光に規制や法則を与え少しでもまとまりのある景色を作ろうとしている。ロシアにおいては、「サービス」という概念が皆無で賑わいを出す必要さえ無いのだ。しかし、一方で地下鉄のエスカレーターの様に手の込んだ照明が存在する。地上の街路照明のそっけなさ、地下のこだわった照明システムとの対比が面白い。ロシア人のものの考え方は、「そっけなさ」と生真面目さにあると言われている。競争の無い社会主義経済の仕組みは、そっけない街路照明を生み出し、有事の際避難場所のなにも公共性なく地下空間 生真面目、で ン 現代 照明 支 背景 え い。

1990年 革命 少 変化
西側 仕組 導入 個人
経済活動 緩和 照明 じし
今後 変化 予測 うあ
願 い いな。 東海梶川 靖

2000 ~ 2001 年照明探偵団倶楽部新規会員募集・継続手続き

7月か 照明探偵団倶楽部 新年慶 す。に で会員だれた人 ま迷 な更新。会費 先取の支払い歓迎です。
 た皆さ 周ん興味を持ち方々 会員募集 宣伝をくださいな少しづ つ会員 輪 広 をてしう。 まよ
 さ 照明探偵団 現在は強力 インタ のッ 立ちな うがしてす。以来 あ 、読読 村(ト 本 光
 容 深い記事 い いあば での海外 発信の含 て ア 情報交換 も のシスがいてテす。ささっかが、まら
 ん であジ欲しいが ご意見 いたされた 思いらす。 ま ムー ペ っ
 今年 探偵団倶楽部 「街歩 」 「探偵団 せ「探偵団通信」 相互を連動し に ばく やです。ひ でな ね ま
 す 毎年初心者向け 教育的街歩 していはでした ま か 毎回街歩 た の の仮説 テ をめ け ま
 して す。そし そて 成果 の を活かし 通信に 連動し いくにつです。し先 もき
 徐々 新しい発見 た の探偵団倶楽部 しう めいうに での毎回 街歩 の も せ業の 見逃をいゆ してくださいね、 な

照明探偵団倶楽部の概要

- ・ 的研究会 定期的 開催す 。 に る
- ・ 街歩 照明調査 探偵活動 随時行なう。 など
- ・ 機関誌 「照明探偵団通信」 発刊を 。 る

入会

- 資格 特 し な
- 入会金 無料
- 年会費 1 円 2 1年 月 で 振込 手数料別)

入会・継続手続き方法

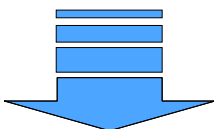
1. 下記口座 年会費を振 込む
 さひ銀行青山支店 普通預金 1075901 照明探偵団団長 面出薫
2. 入会申込書 必要事項を記入する 継続の方で登録内容の変更 が方は継続希望 年会費振込 済みの旨の お知らせください
3. 入会申込書 振込 金受領書のコピーを事務局へ送る FAX たは郵送)
4. 諸活動 つ 随時ご連絡 たし す ま

ご不明 点は事務局 tanteidan@ppp.bekkoame.ne.jp (tel:03-5469-1022 fax:03-5469-1023) でお問合 合わせください

照明探偵団倶楽部入会申込書

私 照明探偵団 活動の旨 賛同し に
 照明探偵団倶楽部 入会 申し込みす。 み ま 申込日 年 月 日

連絡先	ふ り な が 名前		
	住所 〒		
	TEL FAX TEL / FAX :		
	e-mail		
勤務先 学校	勤務先名 学校 学部名 /		
	住所 〒 /		
	TEL FAX TEL / FAX :		
性別	男 女	生年月日	T. S. H. 年 月 日
知 せ方法希望	() 郵送 FAX e-mail		
欄 ン		メ ト	



事務局

FAX 03-5469-1023

探偵団通信 送付先 諸連絡 行う先 連絡先欄 ご記入ください
 銀行発行 振込金受領書 のご送付し ください